

三重大学工学部情報工学科オープンキャンパス

情報工学科ではコンピュータに関する教育や研究を行っています。今年のオープンキャンパスでは、**ヒューマンインタフェース**、**人間情報学**、**コンピュータアーキテクチャ**研究室を紹介します。みなさんのご来場をお待ちしています。

情報工学科オープンキャンパスの内容

会場：情報工学科棟 1階

1. 研究紹介 ～情報工学科の「研究」って？～

3つの研究室の学生・教員が最新の研究トピックを紹介します。

第1回 13:00～ 第2回 13:40～

第3回 14:20～ 第4回 15:00～

3つの研究室の紹介を10分ずつ順次行います。

各回の内容は同じです。

説明中の入退室は自由です。



2. 研究展示

情報工学科で行われている研究をパネルなどで紹介します。



ヒューマンインタフェース研究室

パターン認識、画像処理を利用した人とコンピュータの知的ユーザインターフェース技術に関する研究開発を行っています。

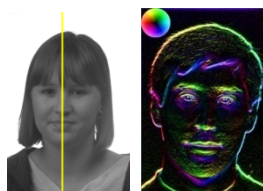
文書解析と認識

- ・郵便物の住所認識
- ・3次元回転不変文字認識



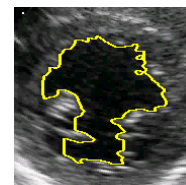
バイオメトリクス

- ・顔認識
- ・署名照合



医用画像処理

- ・心エコー図の計算機処理による心臓病診断の客観化・定量化

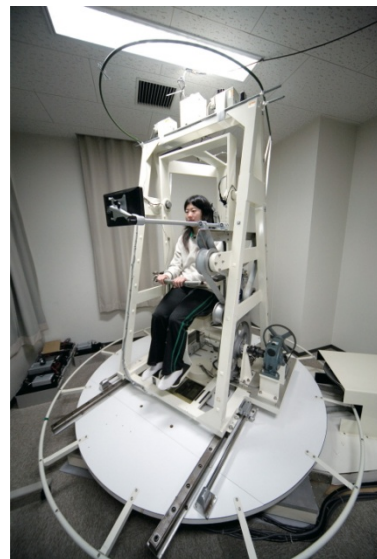


人間情報学研究室

乗物酔・宇宙酔・VR酔や乗り心地などを主な研究対象として、感覚・知覚に関する人間情報科学の基礎的・応用的研究をしています。また、語学教育を支援する自動添削システムや情報アクセスのためのテキスト処理など、自然言語処理の研究をしています。



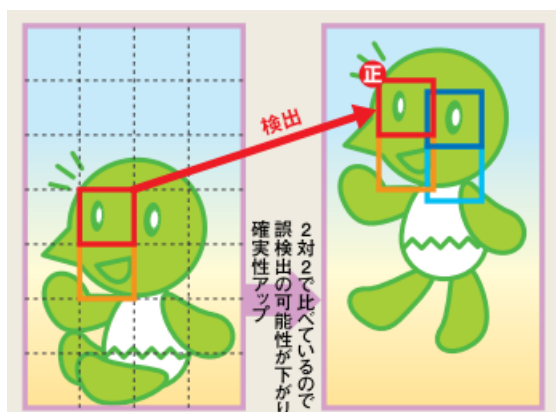
バーチャルリアリティシステム
(3D映像音響システムとモーションベース)



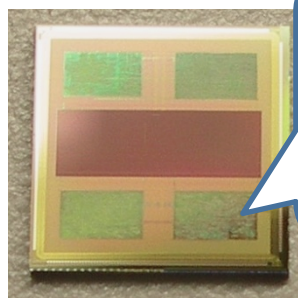
コリオリ刺激装置(2軸回転台)

コンピュータアーキテクチャ研究室

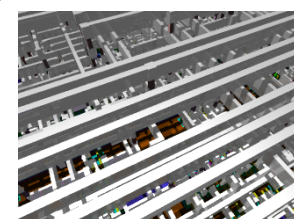
私たちの研究室では、高臨場感の大画面映像を家庭で楽しむために必要な超高精細映像圧縮システム、高性能なノートパソコンや携帯電話のバッテリー駆動時間を大幅に伸ばすための低電力プロセッサに関する研究を行っています。



隣接ブロックを利用する高効率動き検出法



高性能・低消費電力プロセッサのチップ写真



チップ内部の3次元構造

代表的な研究テーマ

- 超高精細映像圧縮対応の動き検出法と高並列プロセッサ
- 高性能かつ低消費電力を実現するプロセッサ